



市議会での論戦の様子



会派代表として政策提言



広報広聴委員長として



全国の議員仲間とともに

中村かずひこ プロフィール

- 昭和48(1973)年4月8日生まれ(49歳)
- 真岡西小学校、真岡中学校(バスケットボール部)、真岡高校(落語同好会)、明治大学政治経済学部卒業。明治大学公共政策大学院修了。
- 小・中・高では生徒会長を歴任。大学時代は雄弁部に所属。地方分権をテーマに数々の弁論大会で優勝。
- 平成9(1997)年、真岡ケーブルテレビに入社し、番組企画やアナウンサーなどを担当。
- 平成15(2003)年、真岡市議会議員選挙に初出馬。2,415票を獲得し、トップ当選を果たす。現在5期目。
- 関東若手市議会議員の会 会長(2012~2013)
全国若手市議会議員の会 副会長(2013~2014)
- 市議会では、議長、副議長、監査委員、総務・文教各常任委員長などを歴任。
- 現在、会派『もおか新時代』代表、広報広聴委員会委員長、議会活性化等検討委員会副委員長。
- 栃木県内議員有志の勉強会『とちぎ次世代研究会』代表、清瀬セミナー実行委員会委員長代行。
- 真岡地区遺族会会長、真岡落語研究会事務局長、真岡自然観察会事務局、朗読ボランティア『ひばりの会』会員、真岡青年会議所OB。
- 家族構成 妻・光江、母・方子とともに熊倉町在住。
- 趣味 落語実演、読書、料理、スポーツ(ソフトボール、バドミントン、ヨガなど)

『行ってらっしゃい!』
朝のあいさつボランティア

大学生たちをインターんとして受け入れる

視覚障がい者に向けた
音訳ボランティア

高校時代から現在も続いている落語

「中村かずひこ通信」を発行しています

中村かずひこは、平成15年の初当選直後から、毎回定例議会終了後に、『中村かずひこ通信』の発行をしてきました。(今まで79号発行)

今後も、市民の皆様に議会情報をより分かりやすくお伝えするため、発行を続けてまいります。



中村かずひと未来をつくる会

情報発信中
フォローをお願いします!

ご相談・ご要望は
公式ラインからでもお気軽に



ホームページ



公式LINE



Facebook



Instagram

〒321-4362 真岡市熊倉町 3423-4

tonpei@i-berry.ne.jp

<http://www.nakamurakazuhiko.com>

TEL 0285-82-6285

あなたを
もっと
真岡の
ど真ん中に!

真岡市議会議員
49歳

中村
かずひこ

コロナ禍だったこの3年間、私は大学生たちをインターんとして受け入れ続けてきました。
彼らとの議論の中で、感じたことがあります。

私は1973(昭和48)年の生まれ。第2次ベビーブームのピークであるこの年に生まれた子どもは、全国で約209万人もいました。

一方、今の大学生たちが生まれた2000~2004(平成12~16)年は、約111~119万人。そして、令和4年に生まれた赤ちゃんは、初めて80万人を下回ることになりました。

日本の出生数

1973(昭和48)年	約209万人
2002(平成14)年	約115万人
2022(令和4)年	約 80万人

『これから20年後、30年後
社会はどうなっていくのか?』

次世代を担う若者や子どもたちに、胸を張って譲り渡せる社会をつくるため、今から打つべき手を、矢継ぎ早に打っていかなければなりません。

今、世界全体でSDGs(持続可能な開発目標)が盛んに叫ばれ、その理念の1つに『誰一人取り残さない』というものがあります。

私はこれをもっと前向きにとらえて、真岡市を、世代や性別、家庭環境、障害の有無などに関係なく『市民一人一人が、主人公として活躍できる地域』にしていかなければと考えています。

これまでの先例も、他の自治体の実例も、参考になりにくい時代。
だからこそ『からの参考事例』を、この真岡市から、皆さんと一緒に創っていきたいのです。

中面に 中村的マニフェスト2023

中村的マニフェスト2023

市民の声を **もっと** 反映できるまちづくり+議会づくり

- まちづくりを担う**人材育成**のための生涯学習講座
『**もおか市民大学**』の創設を
- 市街化調整区域**の活性化に向けた**研究会**の立ち上げを
- 市民(特に若者)の意見を**議会の政策づくり**に反映させる
『**市民モニター制度**』の導入を
- 議会の政策立案機能強化のために、**常任委員会の運営見直し**、
議員提案の**条例づくり**の推進を

子育て世代に **もっと** 選ばれるまちづくり

- 学校図書館の専任司書を増員し、子どもたちの
学力向上と心の教育を
- 『**生活改善・学力向上プログラム**』や
『**国際バカロレア**』など、新たな教育カリキュラム
の調査研究を
- 全ての学校で、オンライン授業**が受けられる環境を
- 出産祝金の増額や税制面での優遇による
多子世帯への**経済的支援**を
- ヤングケアラーやリトルベビーへの**支援策**を強化
し、誰一人取り残さない子育て環境の充実を
- 学校給食の『**無償化**』や『**オーガニック化**』
などの実現に向けた取り組みを

若者が **もっと** 住みたくなるまちづくり

- 中高生の各種活動を応援する『**もおか甲子園プロジェクト**』の提案を
- 中小企業や起業家を支援する『**真岡市版ご当地ビズ**』などの環境整備を
- 企業の**本社・研究機能の移転促進**のため、市独自の支援制度を
- 新たな事業を始める人たちのため、**空き店舗活用**の促進を
- 『**環境共生モデル地域事業**』や『**市民トラストの森事業**』
を提案し、人と自然が共生できる取り組みを
- シビックプライド醸成の一環として、**二宮尊徳翁**を
題材とした**NHK大河ドラマ誘致**活動の推進を

高齢者、障がい者が **もっと** 輝けるまちづくり

- 市内企業の**ワークライフバランス**を支援する取り組みを
- 『**まちなか保健室**』を**各地区**に開設し、高齢者の
介護予防推進を
- 移動販売車**の運営に対する**さらなる支援**を
- 障がい者とその家族が安心して暮らすため
『**地域生活支援拠点**』や**働く場**の整備を

この4年間で
(5期目:2019~2023年)
実現した施策

- ① 子ども医療費助成を高校3年生まで拡充(令和5年度~)
- ② 乳児紙おむつ購入助成券支給世帯にごみ袋を支給(令和5年度~)
- ③ 教育委員会に『スクールソーシャルワーカー』を配置
- ④ 教育施策を調査研究する『教育政策係』を学校教育課に新設
- ⑤ コロナ禍での夏休み期間中の授業・給食のあり方を見直し
- ⑥ 地域と学校の連携を深める『コミュニティ・スクール』の制度導入
- ⑦ 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業を要介護3以上に拡大(令和5年度~)
- ⑧ 障がい者を対象としたグループホームの増設

- ⑨ 『**まちなか保健室**』を二宮地区にも開設へ(令和5年度~)
- ⑩ 協働のまちづくりへ『**市民協働推進室**』を新設
- ⑪ 空き店舗の住居と店舗の分離工事を支援する制度がスタート(令和5年度~)
- ⑫ 『**クラウドソーシング**』の普及に向けた講習会を開催
- ⑬ イノシシ捕獲の報奨金を拡充
- ⑭ 『**市勢発展長期計画**』から『**総合計画**』に名称変更
- ⑮ 議会だよりのリニューアル
- ⑯ インターネットによる議会の動画配信

